

## ▶ 化学品安全の活動

### 2015年度目標

- PRTR<sup>1)</sup>排出量2001年度比40%以下(中期目標)維持
- 排出量の大きいPRTR法対象物質の排出削減
- VOC<sup>2)</sup>排出量2000年度比40%以下(中期目標)の達成

### 2015年度実施結果

- PRTR排出量は目標を達成した。
- 排出量の大きいベンゼンやグリシドールの排出削減を推進した。
- VOC排出量は目標未達であった。

### 2016年度目標

- PRTR排出量2001年度比40%以下(中期目標)維持
- VOC排出量2000年度比40%以下(中期目標)の達成

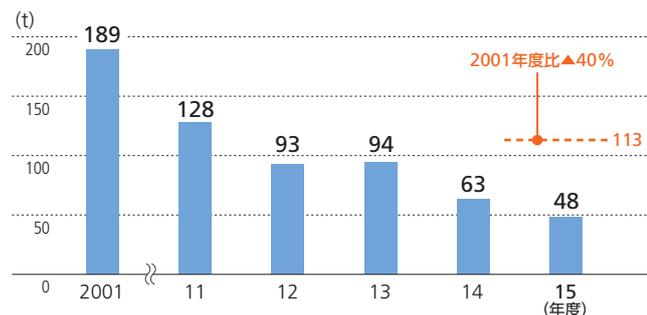
## ■ PRTR法対象物質の排出削減

2015年度は、前年度に引き続き、排水処理方法の見直しや排ガスの焼却処理に取り組み、中期目標である2001年度排出量比40%以下を継続しました。今後も、PRTR法対象物質の排出量が増えないように取り組んでいきます。

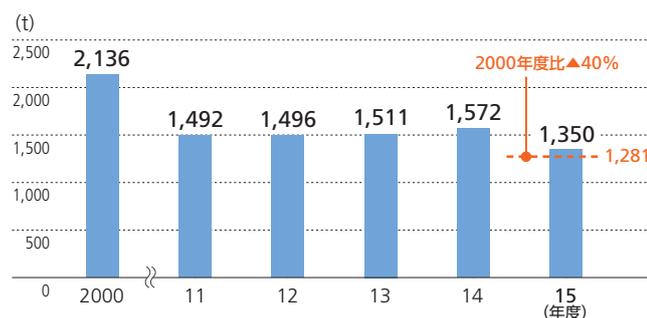
## ■ VOCの排出削減

2015年度は、溶剤回収工程の運転条件や設備不具合箇所の改善などに取り組み、前年度に比較して排出量は減少しましたが、排出削減の中期目標は未達成でした。2016年度は、溶剤回収条件の見直しなどを引き続き行い、目標達成に向け取り組んでいます。

### ▶ PRTR法対象物質排出量の推移



### ▶ VOC排出量の推移



## 用語解説

- 1) PRTR: Pollutant Release and Transfer Register (環境汚染物質排出・移動登録)の略で、日本国内での化学物質を生産、使用貯蔵している段階で化学物質がどの程度環境中に排出または移動しているかを算出して登録(届出)する制度のことです。
- 2) VOC: Volatile Organic Compounds (揮発性有機化合物)の略で、トルエン、キシレン、酢酸エチルなどが代表的な物質です。

## ■ その他の化学品安全の活動

### • PCB (ポリ塩化ビフェニル)の適正管理

ダイセルグループでは「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」や「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」(PCB特措法)に則り、トランス(変圧器)やコンデンサー、安定器などのPCB廃棄物を適切に保管・管理するとともに、その処理を計画的に進めています。

2015年度は、主として大竹工場で保管するトランスやコンデンサーの低濃度PCB廃棄物を国の認定した無害化処理施設で処理しました。引き続き、PCB汚染物の処理を計画的に進めていきます。

### • 化学物質管理

国際的に化学品管理規制が強化されているなか、国内外の法規制に対して適切に対応を行っています。代表的な欧州REACH<sup>3)</sup>については、年間1~100トン輸出している物質の登録を、2018年までに登録完了させるため、計画に基づき届出準備を進めています。また、国内外の化学物質の法規制の遵守徹底を目的に、事業カンパニーおよびグループ企業の担当者が定期的に一堂に会し、法規制の最新情報や動向などの情報交換を実施しています。

2010年から運用を開始した当社独自の化学物質情報管理データベース「D-CLik」にて、当社の原料や製品の化学物質情報を一元管理し、SDS(化学物質の安全データシート)作成やお客さまへの情報提供の迅速化、化学物質のリスク評価ならびにリスク管理に活用しています。

一般社団法人 日本化学工業協会(以下、日本化学工業協会)が推進する化学業界の自主的な取り組みであるGPS/JIPS<sup>4)</sup>にも取り組んでおり、製品のリスク評価および安全性要約書の公開を推進しています。

- 3) REACH: 欧州連合(EU)で定められた化学物質の登録、安全性評価、使用制限、使用許可を生産者に義務付ける規制です。
- 4) GPS/JIPS: Global Product Strategy/Japan Initiative of Product Stewardshipの略です。国際化学工業協会協議会(ICCA)の化学品管理戦略に基づき、日本化学工業協会が推進する化学産業界の自主的活動です。この活動では、化学製品のリスク評価を行い、その結果を業界以外の方々にもわかりやすいように記載した安全性要約書を作成、公開しています。